

緑の宝



2026
新年号
No.83



静岡県さくらの会

【写真】令和7年度静岡県さくら写真コンクール 入選 「桜と富士山の共演」
撮影場所：富士市岩本山公園、撮影月：4月

目次

会長挨拶	2
知事挨拶	3
特別支援学校緑の保全事業	4
緑の相談所、生物多様性の保全推進事業	5
学生の体験就労支援事業	6
技術研修会「都市樹木のリスクマネジメント」	7
みどりのおたより(静岡県環境ふれあい課)	8
緑化巡回アドバイザー	9
特集記事「Park-PFIを活用した県内の事例紹介」	10
造園施工管理技士会だより(総会、講演)	12
造園施工管理技士会だより(研修会)	13
表彰	14
若手技術者紹介	15
会員名簿	16



公益社団法人
静岡県造園緑化協会
会長 江間 正章

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

本年、当協会は記念すべき設立六十周年の節目を迎えます。これもひとえに、会員の皆様、そして関係各位の日頃からのご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

節目の新年にあたり、先人が築いてこられた協会活動のあゆみに敬意を表しつつ、造園業界が果たすべき社会的使命を深く認識するとともに、緑の資産を未来につなぐ責務の重さを改めて感じております。

さて、私たちを取り巻く自然環境、社会環境は大きく変化しています。気候変動への対応、生物多様性の保全、地域コミュニティの活力維持など、造園の役割はこれまで以上に広がり、重要性を増しています。当協会では、緑化の普及啓発や技術

指導などの公益事業を一層推進し、自然と人が共生する持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。

また、少子高齢化に伴う人材不足は深刻化しており、次代を担う人材の確保と育成は喫緊の課題です。人材不足は、工期の遅延や受注機会の損失にもつながることから、働き方改革を着実に進めるとともに、造園技術の継承と研鑽を図り、質の高い専門性を次の世代へ確実に受け渡せるよう取り組んでまいります。

さらに、近年注目される「ウェルビーイング」の観点からも、緑のもたらす価値は大きく、心身の健康や豊かな暮らしの基盤として、造園の役割はますます期待されています。新しい考え方や管理手法を取り入れ、花や緑と触れ合う場の提供や魅力発信の強化を通じて、幸福感深まる癒し空間を提案してまいります。

本年も、会員の皆様のお力添えのもとで、緑豊かな住みよい県土づくりに貢献してまいりますので、関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。



静岡県知事

鈴木 康友

明けましておめでとうございます。

公益社団法人静岡県造園緑化協会会員の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、長きにわたり、県内各地での緑化相談所の開設や緑化技術支援などを通じて、緑豊かな住みよい県土づくりに多大な御貢献をいただいていることに對し、改めて感謝申し上げます。あわせて、本年は、昭和四十一年の発足以来、六十周年という輝かしい節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

近年、地球温暖化に伴う気候変動や生物多様性の損失が深刻な課題となっております。本県では、脱炭素社会の実現を目指し、令和四年三月に策定した「第4次静岡県地球温暖化対策実行計画」の柱の一つとして吸収源対策の推進を位置付け、適切な森林整備の促進に取り組んでいます。令和六年度には、「J・クレジット制度」に基づき、県有林の間伐等に

よる二酸化炭素吸収量をカーボン・クレジットとして創出するプロジェクト登録に取り組み、承認を得ました。今後、企業等への販売を通じて、その環境貢献活動を後押しするとともに、カーボン・クレジット販売を通じた森林整備を先導的に推進してまいります。

また、企業・個人等の取組により保全されている森林や里地里山等を自然共生サイトとして登録する取組も進め、生物多様性の保全を図り、自然と共生した持続可能で県民の幸福実感が高まる社会を目指してまいります。

本県の美しく豊かな自然は、県民の幸福実感を支える大切な基盤です。これを守り次代に引き継ぐためには、景観や環境に配慮した緑化施設の効率的な維持管理など、高度な専門技術を有する貴協会並びに会員の皆様のお力添えが不可欠であります。皆様におかれましては、本県が目指す「幸福度日本一の静岡県」の実現に向け、更なる御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝御活躍を心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

特別支援学校 緑の保全事業

平成二十七年年度から県立特別支援学校を対象に緑化活動や校庭の樹木剪定などを各支部会員がお手伝いしています。

浜松聴覚特別支援学校

同校には森林がありますが、松くい虫被害が発生しています。中でも、遊具の近くにあるマツは、枯れが進行し危険なことから早急の対策が必要でした。学校からの要望を受け、夏休み中に(株)庭明さんが高所作業車に加えロープワークも活用して伐採しました。



(着前)遊具近くの枯れたアカマツ



伐倒後の玉切り



ロープワークによる枝払い



高所作業車による枝払い

富士特別支援学校 富士東分校

令和七年十一月十九日(水)、花壇づくりをお手伝いしました。指導は、(株)大松園の渡井清視さんと畦柳幸直さんです。参加者は高等部の農耕班三名と先生一名です。富士山をモチーフに植栽デザインを考え、アリッサムとパンジーの花苗を移植し、苗間にチュウリッポの球根を植えました。花壇の色合いの変化が楽しみです。



花苗の移植方法を説明



植付完了



花苗を移植

緑の相談所(支部活動)

環境緑化の普及啓発を目的に、例年春と秋に県内各地の園芸市などの会場で、「緑の相談所」を開設し、会員が緑化木等の相談にお答えしています。

会場では花の種や苗の配布、盆景づくり、種だんご作りなど各支部で工夫を凝らして普及活動を行っています。



富士市緑と花の百科展(10/12)



浜松市花と緑の祭(10/18,19)



富士宮市緑化祭花木市(10/18)



浜松市展示即売会(10/26)



静岡市秋の園芸市(10/18,19)

生物多様性の保全推進事業

会員が培った造園技術を活かすことで、企業緑地等の生物多様性の保全にも貢献できると考え、令和六年度から取り組み始めました。令和七年度は、会員アドバイザーが、静岡県から業務を受託した団体スタッフに同行し、生物多様性の保全に取り組む企業等を訪問して環境省の「自然共生サイト」への登録申請について、情報交換や助言をしています。



公園を管理する事業者を訪問(8/20)

学生の体験就労支援事業

静岡県立静岡農業高等学校環境科学（環境緑化系列）二年生12名のインターシップ（三日間）を、中部支部会員が協力しました。

これまで、冬に実施してきましたが、生徒さんが参加しやすい夏休みに変更となりました。昨夏は暑い日が続いたことから、熱中症予防対策を徹底しながら、緑地や樹木の管理、測量などを体験してもらいました。



草薙駅前で街路樹剪定の片付け



公共駐車場にて樹木剪定



公共緑地にて芝刈り



寺院にて敷地を測量

静岡農高と 中部支部の意見交換

中部支部では、令和七年十月三十日に、県立静岡農業高校の環境緑化担当教諭と、インターシップのふりかえりや、生徒の進路などについて、意見交換しました。また、昨年度に引き続き、令和八年二月に校内で剪定実習を行うこととなり、中部支部が指導者を派遣協力することをお伝えしました。



（左端）小林支部長、（左から2番目）源平副会長

技術研修会「都市樹木の リスクマネジメント」

令和七年十一月十二日、静岡県立中央図書館で、樹木のリスクマネジメントをテーマにした公共緑化技術研修会を開催し、会員や行政の緑地管理担当者ら二十八名が受講しました。講師には、令和四年度の開催時にもお願いした（一社）地域緑化技術普及協会の代表細野哲央氏（農学博士、樹木医）をお招きして、午前中に講義、午後には、隣接する静岡県立大学一般開放地に出て、ケヤキ、サクラ、スダジイなどを対象に樹木点検の実習をしました。



講師：細野哲央氏



講義会場の様子



講師による点検の実演



開口部に鋼棒を刺し空洞の大きさを把握



外観点検（樹勢、樹形、枯れ、樹皮異常）



空洞や子実体の発生がないか確認



木槌による打検で樹木内部の空洞範囲を確認

みどりのおたより

静岡県環境ふれあい課

「静岡県さくららの会」は、さくらを愛護する精神を広く県民に普及させ、その保護・育成を図り、静岡県の観光と美化の推進に努めるとともに、さくらを通じて国際親善等に寄与することを目的として、昭和四十一年三月二十八日に設立しました。

昭和四十一年の設立以来、「さくら一〇〇万本植樹運動」という全県的な取組を進めるとともに、県内全域に多くの桜を根付かせ、いくつもの名所を生み出し、訪れる人々を美しい桜で楽しませてきました。

この度、本会が六十周年という記念すべき節目を迎えることができたことは、貴協会を含む本会会員、関係各位をはじめ、桜を守り育て愛する県民の皆様のおかげと感謝申し上げます。

多くの方々に愛される桜の木は、現在樹木の高齢化が進んでおり、樹勢の衰退や倒木の危険性も懸念され、さらには桜を未来に残すための適切な管理と人手不足の解消が課題となっています。

また、地球温暖化の影響により、桜の開花時期の変動が続いていることから、将来的な開花への影響も懸念されるところです。

後世に本会の精神や活動を残していくことを目的とし、令和七年度に設立六十周年を迎えた本会では様々な活動を実施しており、ここでは二事業を紹介いたします。

〇合同記念植樹

令和七年十月十八日にさくららの名所として親しまれる秩父宮記念公園で、市制七十周年を迎える御

殿場市と河津桜の合同記念植樹を行いました。

植えられた桜が、秩父宮記念公園に訪れる皆様、そして未来にわたって多くの方々に愛され、地域のシンボルとしての成長を願っています。



合同記念植樹の様子

左：静岡県副知事
塚本 秀綱
右：御殿場市長
勝又 正美
※敬称略

〇Instagram公式アカウント開設

Instagram公式アカウントを令和六年十二月二日に開設し、さくらを愛護する精神の啓蒙に向けた情報発信ツールとして活用しています。

県内の桜の名所情報やさくら開花情報、イベント紹介等の桜に関する情報を発信し、静岡県のさくらの魅力を周知していきます。



@SHIZUOKA_SAKURA

Instagram
公式アカウント

▲フォローはこちらから
ぜひ、フォローを
お願いします！

令和八年二月には、NHK「趣味の園芸」でも有名な矢澤秀成様をお招きし、次世代へつなぐ桜について講演会を開催する予定です。詳細は、本会ホームページを御確認ください。

今後とも、静岡県さくららの会の活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

緑化巡回アドバイザー

（公財）静岡県グリーンバンクからの委託を受け、当協会技術委員らが、芝生化した園庭等を、九月十日から九月二十五日までの期間に、二十二箇所を巡回指導しました。令和七年夏は記録的な高温と少雨の影響で、管理に苦労されたようですが、概ね生育良好でした。ヨトウムシが大量発生し被害を受けた園庭が多数ありました。スポーツ活動によって芝が擦り切れ

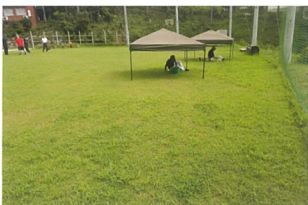


部活動で劣化した芝生を夏休みに養生し復活した校庭



園児数に対し適正な面積以上の園庭は踏圧の影響も少なく健全な芝草

た学校でも、芝苗を補植したところ、八月にヨトウムシが大量発生したことから夏休みに殺虫剤を散布して何とか九月には復活した事例もありました。周囲を高木に囲まれた日照不足の園庭では光環境の改善を、また、刈りムラのある園庭では芝刈機の刈高の調整などを助言しました。なお、広い芝生の管理者からは、面積に対し低能力の機材しかないことから、管理作業の負担が大きいとの声がありました。



雑草対策で苦労している園庭



適切な管理によって生育良好な園庭



広い面積を手押し式芝刈り機や手散水で管理していることから管理者の負担が大きい広場



周囲の高木で日陰となる園庭の状況

Park-PFI（公募設置管理者制度）

Park-PFIは、都市公園の魅力と利便性の向上を図ることを目的に、二〇一七年の都市公園法改正により設けられた制度で、

都市公園における民間資金を活用した新たな整備・管理手法です。カフェやショップなど公園利用者の利便に資する施設を設置し、その

Park-PFI イメージ



P-PFI の事業スキームイメージ



田畑や屋敷林が残る万斛庄屋公園(1.4ha)

万斛庄屋公園／浜松市

【公園管理者（浜松市公園課）】

平成二十二年「鈴木家の屋敷跡」が市に寄付され、ワークショップ等の開催を通じて、官民協働でつくり上げる公園を目指し模索。老

朽化した建物の保存修復は財政面からも困難でしたが、建物保存を希望した地元の精力的な活動や要望を受け、令和元年に市場調査を実施。その結果、建屋存続の可能性が見出されたことから、Park-PFI制度を活用し、令和六年三月に正式オープンしました。

コラム

鈴木家は室町時代から続く名家で、万斛村（現中央区郡町）に屋敷を構え、江戸時代には庄屋の中でも地位の高い独株庄屋として栄えた。鈴木家は家康とのつながりも深く、側室である阿茶局（あちやのつばね）は鈴木家に預けられていたという。

【事業者（松川電気株）】

事業者は、かねてから地域に根差した社会貢献活動を意欲的に取り組んでおり、地域の重要な歴史的建物を保存したいという地元の熱意に応えようと応募しました。「忘れかけた、日本の心再発見」るりん童 故郷さがしをコンセプトに掲げ、多額の費用をかけ四棟（母屋、離れ屋、弓道場射場、弓道場の場）を公募対象公園施設として保存修復。母屋は古民家レストラン、弓道場射場「帰一庵」は地域貢献活動の拠点としても活用。小澤社長は、「市や地元の協力を得ながら、市民憩いの場として喜んでもらえるよう取り組んでいる」と語った。



弓道場射場「帰一庵」(上)
弓道場の場 (下)



母屋 (左) と弓道場射場「帰一庵」(右)



古民家レストラン「鈴松庵」(母屋)

清水船越堤公園 / 静岡市

【公園管理者「静岡市緑地政策課」】

船越堤公園は、桜の名所として、また清水の港町を眼下に富士山の絶景スポットとして人気の高い公園です。一方、開園からおよそ四十年が経過し施設の老朽化が進行していました。また、公園利用者からは狭い駐車場やトイレの改善を望む声が多く寄せられていたことから、公園の魅力向上を目的に、令和五年度にPark+PFI制度による事業者を公募し、公園の再整備を進め令和七年春にリニューアルオープンしました。



富士山や清水港が望める公園
(9.4ha)

【事業者(良知樹園株)】

地域のための公園を、地域の人達と一緒に再整備を進めたいと考え、地元企業の参画や協賛を得るのに苦労しました。3つのビジョン①人と人のやりとりが織りなす風景を創出する場、②多世代が交流する学びの場、③市民が自ら関わり育ていく公共の場を掲げ、令和七年三月にカフェスタンドやトイレをオープンしました。五月にはリニューアルイベントを開催したほか、地元小学生による広場の芝生化などを通じて、人の交流が広がりはじめています。



カフェスタンド「そらのくじら」



新設したトイレ



中央ひろばの芝生化 (7/18 船越小児童が植栽)

良知社長は「季節間で利用者数の変動が大きいことから、関係団体の協力を得て集客イベントや季節感のあるアクティビティを仕掛けていきたい」と今後の展開を話してくれました。

静岡県造園施工管理技士会だより

第四十回総会

令和七年八月二十七日(水)静岡市内にて、「第四十回静岡県造園施工管理技士会通常総会」が開催されました。正会員七十四名のうち六十一名委任状四十三名を含む

が出席。衛藤会長は、「緑には癒し効果をはじめ多面的機能がある。我々は緑を守る担い手として社会に貢献していく必要がある」とあいさつした。議事では、令和六年度事業報告及び収支決算が承認されたほか、任期満了に伴う役員改選の結果、衛藤会長らが再任され



あいさつする衛藤会長

ました。総会閉会后には、講演会を開催しました。

講演「スクリーンタイムからグリーンタイムへ」

「緑が人をつなぎ、幸せをつくる、市民行政専門家の協働」

講師 千葉大学名誉教授

木下 勇氏



講師の木下 勇先生

日本でいち早くワークショッップ手法を取り入れた住民参画・こども参画のまちづくりを先導してきた木下先生からは、これまでに先生が実践した事例紹介も交え、新

たな視点から造園技術者の活躍の場を提案していただきました。

①バイオフィリア仮説

生物学者エドワード・O・ウィルソンが「人間には先天的に自然や他の生物との触れ合いを求める本能的傾向がある」と一九八四年に提唱した。つまり、緑が身近にあると幸せを感じるはず。

バイオフィリック・デザインとは、バイオフィリアの概念を反映し、自然要素を建築や空間デザインに取り入れる手法です。自然に触れることで幸福度、集聚力、生産性の向上などが期待されます。



会場の様子

②食べられる景観のスヌメ

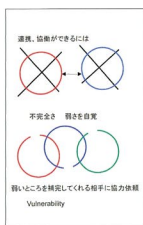
エディブル ランドスケープとは、都市の住環境において、果樹や木の実、野菜など食べられる植物を地域住民みんなで育て、沿道を緑でつなげようというもの。季節を感じ、おすそわけを通じて交流にも役立つ効果がある。

③公園・民地庭・空き地・校庭園庭を魅力的にする作戦

アート展示やポタジェガーデンで魅力を向上。また、持続可能なまちづくりの拠点にもなるはず。

④協働のコツは？(パートナーシップSDGs No.17)

「補完性原理」は、決定や自治を出来る限り小さい単位で行い、出来ないことのみをより大きな単位の団体で補完していくという概念。



「海岸防災林&ドローン」

令和七年十月十六日、袋井市湊で「海岸防災林&ドローン」の研修会を開催し、技士会会員ら19人が受講しました。研修では、最初に、防災林を所管する静岡県中遠農林事務所治山課の森課長と渥美治山班長が、塩害などにより枯損した海岸防災林の再整備・機能強化を図る「ふじのくに森の防潮堤づくり」について、工事概要や植栽した



防災林の生育状況を説明をする
静岡県中遠農林事務所治山課
森課長(右端)、渥美治山班長(右から2番目)

クロマツなどの生育状況、今後の管理方針を説明しました。

次に、ドローンビレッジ富士の望月紀志代表がドローンを活用した施工管理の効率化について説明した後、実際にドローンを飛行させ上空から撮影した連続写真をアプリで解析し、正射写真に変換するなどの実演を行った。参加者から「人の手と経験に頼ってきた植栽木の管理が、ドローンの活用で省力化につながる」と期待する声が上がった。



ドローンの飛行を実演



コントローラで設定ルート上の飛行位置を確認



望月講師(テント内)が、撮影状況を説明

県交通基盤部と 建産連との意見交換会

令和七年十月十五日静岡市内にて、静岡県建設産業団体連合会石井源一会長主催による、静岡県との意見交換会が開催されました。当協会からは造園工事の受注機会の拡大や担い手対策について要望しました。

災害復旧(会員の対応事例)

令和七年九月五日、牧之原市や吉田町で発生した竜巻は、大きな爪痕を残しました。近隣の会員は、小学校内の木が通学路に倒れたことから、倒木を処理しました。



優秀施工者

国土交通大臣顕彰

令和七年十月二十八日(火)都内において優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)の式典が開催され、(株)庭明の荒井俊浩(あらいと しひろ)氏が受賞されました。

荒井氏は、平成二年から建設業関係に従事。平成十年に現会社へ転職後は、造園工事の第一線で業務に精励し、常に技術・技能の向上や後進の指導育成に努め、他の模範であったことが評価されました。



(株)庭明 荒井俊浩氏

建設産業構造改善推進のつどい

静岡県優秀施工者 知事表彰

令和七年九月九日(火)、静岡市産業交流センターにて「令和七年度建設産業構造改善推進のつどい」が開催され、第一部の褒状授与式で、(株)ハケ代造園の鈴木将史(すずきまさふみ)氏が表彰されました。

鈴木氏は、海岸防災林関連工事をはじめとした造園工事の責任者として優秀な評価を得ているほか、後進の指導・育成に努めていることが評価されました。



(株)ハケ代造園 鈴木将史氏

静岡県職業能力開発 関係表彰式 知事褒賞(技能検定功労者)

令和七年十一月二十八日(金)、静岡県庁にて、令和七年度静岡県職業能力開発関係表彰式が開催され、市川造園(株)の市川明広(いちかわあきひろ)氏が、技能検定功労者として知事褒賞を受賞されました。市川氏は、造園職種検定委員を十九年間の長き間、公正、公平な立場で務め、業界の発展、技能向上に寄与したことが認められました。



市川造園(株) 代表 市川明広氏

講演「静岡県における 南海トラフ巨大地震対策」

第二部の講演では、静岡県危機管理部危機政策課の新被害想定担当室長の板坂孝司氏が講師を務め、県の南海トラフ地震対策や、現在策定を進めている、県独自の新たな「地震被害想定(5次想定)」などを解説しました。



受賞者による記念撮影

啓発労働委員会より 若手技術者紹介



松田泰成さん(28歳)
島田市
園特種東海フレレスト

〔就職の動機〕子供の頃から自然が好きで、大学でも生物学を専攻したことから、緑化関係を希望して就職しました。

〔仕事は〕入社時は、先輩から机上で考えるな。現場に応じて工程管理、安全管理を考えるようにと指導されました。現在は、現場代理人業務が主な仕事ですが、作業を行うこともあります。技能者に仕上がりがイメージを正確に伝えることが結果的に効率的な作業に繋がると考え着手時のコミュニケーションに力点を置いています。

〔思い出に残る仕事は〕里山の再整備で、地元住民の意向を確認し周辺の自然景観にも馴染むよう植栽

樹種や植栽配置を自ら設計し施工したことです。十数年後に彩り豊かな里山景観になっているか楽しみます。

〔造園業は〕繁忙期に仕事が集中するので、平準化を希望します。

〔休日〕は結婚したばかりなので家で好きな料理をしたり、バスケットで汗を流したりしています。

〔将来の抱負〕二級土木施工管理技士、一級造園技施工管理技士補を取得しましたが、樹木医の資格取得を目指して勉強しています。



島田市内の温泉施設にて除草



田畑大輝さん(36歳)
静岡市 園理研グリーン

〔就職の動機〕前職は自動車整備関連。転職を考えていた時期に現在の上司から仕事を紹介され、緑化に魅力を感じ入社しました。

〔仕事は〕未経験の仕事だったので、一から教えてもらいました

が、現在は、現場代理人兼技能者として、県内各地の緑地や公園の芝生管理を任されています。年間計画を基に手入れています。芝草の生育状況を見極めながら芝の刈高を調整しています。薬剤散布が必要な際には、施主様に使用薬剤を詳細に説明し、関係者へ事前告知するなど細心の注意を払っています。入社五年目になりますが、芝刈り作業が楽しく感じることが多くなりました。しかし、屋外作業の暑さには閉口することがあります。

〔休日〕は家の近くの静波海岸でサーフィンをしたり、冬にはスノーボードをしてリフレッシュしています。

〔将来は〕造園施工管理技士の資格取得にチャレンジしていますが、さらに、芝草の病虫害を正確に見分けられるよう勉強して、芝草管理のスペシャリストを目指したいと思っています。



掛川市内のアート施設にて薬剤散布

公益社団法人静岡県造園緑化協会会員

会 員 名	所在地	電話番号	会 員 名	所在地	電話番号
咲愛樹園	東伊豆町	0557-23-0648	加藤造園株	焼津市	054-628-3235
木村造園株	東伊豆町	0557-23-1635	原田造園株	焼津市	054-624-2610
咲伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	良知樹園株	焼津市	054-624-1355
咲広野園	伊東市	0557-37-3028	衛富士島造園	焼津市	054-624-4007
株植源	伊東市	0557-45-0040	衛杉村造園	焼津市	054-624-4030
藤原造園株	熱海市	0557-81-4240	衛樹晃園	焼津市	054-624-8941
西村造園株	熱海市	0557-82-7424	株中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
大島造園土木株静岡営業所	裾野市	055-997-2775	株特種東海フォレスト	島田市	0547-46-1551
株富士見園	長泉町	055-986-6567	衛岩本造園	吉田町	0548-32-2507
株植正園	沼津市	055-921-0945	衛松浦造園	吉田町	0548-32-8887
株翠石園	富士市	0545-71-2236	株雄樹園	御前崎市	0537-86-2684
株大松園	富士市	0545-52-5220	田旗造園建設株	掛川市	0537-22-5951
衛常葉園	富士市	0545-35-0163	株梧棲庭苑	掛川市	0537-24-5577
株望月庭園	富士市	0545-21-5195	株三宝園	掛川市	0537-24-4128
衛やまもと園芸	富士市	0545-38-1958	衛小澤造園	掛川市	0537-22-9052
天野園芸株	富士市	0545-81-0655	衛松月園	森町	0538-48-6431
株共立	富士市	0545-85-1213	衛苔香園	袋井市	0538-24-7770
衛小林造園	富士宮市	0544-24-4533	株片桐造園建設	袋井市	0538-48-7884
赤池造園株	富士宮市	0544-24-3568	株ハッ代造園	袋井市	0538-43-4355
株岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	トヨタ緑産株	袋井市	0538-44-0400
衛丸福造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	株庭 仁	磐田市	0538-35-5528
源平造園建設株	静岡市清水区	054-366-5525	株植 勘	磐田市	0538-34-3030
株小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	株浮月園	磐田市	0538-38-0529
駿河緑地造成株	静岡市清水区	054-351-2555	衛永井造園	磐田市	0538-38-0500
衛森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	衛稲垣造園	磐田市	0538-38-1901
木下造園株	静岡市清水区	054-334-0757	衛松島園	磐田市	0538-38-0790
株興津グリーン	静岡市清水区	054-369-6477	衛昭花園	磐田市	0538-55-3392
春長園緑化株	静岡市葵区	054-246-7512	衛東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
株ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	株江間種苗園	浜松市中央区	053-471-1727
株森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	株庭 明	浜松市中央区	053-453-3311
静岡観葉株	静岡市葵区	054-261-2094	株庭 勘	浜松市中央区	053-455-3980
衛飯田庭園	静岡市葵区	054-245-0513	みどり園株	浜松市中央区	053-456-1165
株藤浪造園	静岡市葵区	054-245-9870	衛太陽造園土木	浜松市中央区	053-455-4007
株静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	天龍造園建設株	浜松市中央区	053-421-1180
株理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-0692	赤塚産業株	浜松市中央区	053-434-4332
株西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	大協造園緑化株	浜松市中央区	053-592-4500
ソーアイ造園株	静岡市駿河区	054-282-7971	ナイスイ緑地株	浜松市中央区	053-485-4631
株小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	市川造園株	浜松市中央区	053-449-4646
株落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928	五常園株	浜松市浜名区	053-587-4838
株静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593	衛青重植木	湖西市	053-579-0736

私たちは・樹木の整備・育成技術の研鑽に努め、
公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大鰐町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習会支援活動や高校、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-8601 静岡市葵区追手町 9 番 6 号

Tel. 054-253-0586 URL <https://www.midorinotakara.org/>

令和8年1月発行
編集 啓発労働委員会
題字 乗松文男氏



公益社団法人静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに森の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨てられる間伐材を資源として活用し、静岡県の豊かな緑づくりをサポートしています。